

全席シートベルト等着用運動

～ うしろもね シートベルトは 全席で！ ～

1 目的

四輪車乗用中の交通事故死者は、シートベルト及びチャイルドシートが非着用であることが多く、特に後部座席の着用率が低いことから、被害軽減のため、全席着用の徹底及び正しい着用の必要性、効果の周知徹底を図る。

2 運動の重点

- (1) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底
- (2) シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の必要性と効果の周知徹底



3 実施事項

運転者は

- (1) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底及び正しい着用の必要性と効果を認識し、自発的な安全意識に基づく習慣付けを図りましょう。
- (2) こどもを同乗させるときは、体格に合ったチャイルドシートを正しく着用させ、その習慣付けを図りましょう。
- (3) 妊婦の方も、腹部を圧迫しないよう正しい方法で、体調を考慮し、できるだけシートベルトを着用しましょう。

地域・家庭では

- (1) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底及び正しい着用の必要性と効果について話し合い、その習慣付けを図りましょう。
- (2) 外出時には、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用徹底についての声掛けを励行しましょう。
- (3) 回覧板、チラシ等の活用や交通安全講習会、各種行事等の機会を捉えた着用効果事例の紹介等、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底等について広報啓発を推進しましょう。



職域では

- (1) 安全運転管理者は、あらゆる機会を捉え、従業員に対し、着用効果事例の紹介等により、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底と正しい着用の必要性と効果について繰り返し指導し、職場総ぐるみで着用の徹底を図りましょう。
- (2) 機関紙(誌)等を活用し、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の必要性と効果について従業員の意識高揚を図りましょう。

自治体・関係機関・団体では

- (1) テレビ、ラジオ、新聞、機関紙(誌)等の各種広報媒体を活用し、本運動の広報啓発を推進しましょう。
- (2) シートベルトコンビンサー(シートベルト衝撃体験装置)等の活用により、着用効果を体験させ、シートベルト着用意識の向上を図りましょう。
- (3) チャイルドシートの着用効果の認識が深まるよう、講習会等を通じて正しい着用意識の向上を図りましょう。

